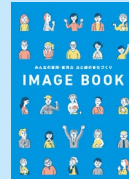


イメージブックとは

横浜市と京急電鉄による公民連携のまちづくりに関する連携協定を基に、富岡・能見台地区にてまちづくりワークショップやまちづくり懇談会等、2018～2021年の3年間、地域の皆様との対話を経て作成した富岡・能見台圏のまちづくりの羅針盤です。



まちづくり
の基本姿勢

地域の大人も子どもも、企業も、学校も、行政も
みんな担い手のまち

1. まちの魅力と課題・まちづくりイメージ (方向性)

多様な主体でのまちづくりを進めるため、まちの魅力と課題を踏まえて、これから目指すまちの将来イメージである「まちづくりイメージ (方向性)」を考えました。

魅力		課題
駅周辺に商店街→利便性◎	各種拠点	駅周辺に施設が集中
公園や自然が多く子育てに◎	住環境	公園が活用されず、空家空地も増
変化に富み、魅力ある景観を形成	丘陵の地勢	地域内の移動を制約
定住志向が強く愛着ある人が多い	情報	環境や暮らしの魅力が伝わらない
活発な町内会活動・多様な人材	地域活動	新たな担い手・子育て世代の参加きっかけ△
横浜中心部等へのアクセス◎	交通	公共交通でカバーできない地域がある

10年後のまちの理想的な姿と、その実現のための6つの「まちづくりの方向性」

まちの魅力と課題は背中合わせ課題もまちづくりのタネに

まちづくり
イメージ

自在に生きる、誇りに生きる、丘と緑のまち。

- ①シゴトと場づくり：多様多彩な人材が活躍できるまち
- ②子育てのしやすさ：まちぐるみで子育てしながら一緒に育つまち
- ③住環境の価値共有：丘と緑が住む人たちの誇りとなるまち
- ④ 魅力発信：人を惹きつける情報が発信されるまち
- ⑤ 多世代の交流：多世代が出会い、交流し、共感しあえるまち
- ⑥ 多様な移動手段：誰もが無理なく地域内を移動できるまち



3. 一緒に振り返ってみましょう。これまでの取組経緯

2018年の連携協定締結からイメージブック発行までの3年間の取組をまとめています。

- まちづくり懇談会 (地域・商店会代表、学識・有識者、行政、京急電鉄による情報共有・意見交換の場)
- まちづくりワークショップ (地域住民有志が参加するアイデアを深める場)
- テーマ別ワーキンググループ (企業等による重点テーマ【交通・拠点】の検討の場)
- とみおかーと実証実験 (急坂による移動負担などの課題解決を目指す富岡地区での新たな地域交通の実証実験)



※写真は、2021年1月10日(日)～2月28日(日)に運行していた車両です。

2. 例えば、こんなことから。地域創発リーディングプロジェクト

まちづくりワークショップを通じて「まちをよくする・やってみたいプロジェクト」を検討しました。新たな仲間も集めながら実現に向け取組を進めていきます。

<能見台地区>

<富岡地区>

①地域×地元産業で子育てしながらワクワクする仕事ができるPJ

子育てしやすい環境であるこの地域で、様々なスキルを持つ女性が活躍できる環境をつくり、子育てと自分らしい働き方の両立を目指すプロジェクト。

⑤空き家WANTED！まちのあちこち拠点づくりPJ

地域の空き家や空き店舗、駐車場などのスペースでの多様な地域の交流拠点づくりのプロジェクト。地域交通で結んで、気軽に立ち寄れる場を目指します。

②工作だけじゃない！工作から始まる「よりみちDIY能見台」PJ

DIYを通じたまちへの愛着や交流づくりから、空き家の活用によるDIY拠点づくりを目指し、まずはイベントやワークショップでの情報収集から始めます。

⑥富岡情報プラットフォーム拠点づくりPJ

地域住民の視点で地域の情報を発掘・発信する仕組みや拠点をつくり、地域情報や地域の魅力を共有・交流できる仕組みをつくるプロジェクト。

③能見台魅力発信PJ

能見台ブランドが広く知られ、若い世代が行きたい・住みたいまちとなるよう、地域の魅力や情報を、地域に住む・関わる立場から地域内外に広く発信するプロジェクト。

⑦町内会館カフェテイクオフスペースPJ

地域の町内会館を活用し、多世代がつながる場づくりをするプロジェクト。カフェのような雰囲気様々人々の交流、地域活動に参加するきっかけづくりを目指します。

④みんなの能見台ミライ基地PJ

地域で人が出会い、支えあうための拠点づくりのプロジェクト。能見台にある空き地等の活用のため、ニーズ調査・情報発信やイベントの開催などから拠点の検討を始めます。

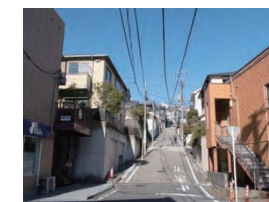
⑧誰もが無理なく移動できる地域交通創出PJ (企業主導型)

誰もが無理なく移動できる地域交通のサービス構築を目指すプロジェクト。地域交通を活用し、まちの情報・サービスや人々の交流の活性化にも寄与します。

4. もっと知りたいまちのこと。富岡・能見台圏の魅力と課題

まちの現状分析として、人口世帯数動向や「暮らしやすい地域づくりに向けたアンケート」調査の結果などの分析を行った結果を掲載しました。

- 高齢化 (金沢区での顕著な高齢化)
- 子育てしやすい住環境 (自然や公園等の地域資源が充実)
- 人材豊富なコミュニティ (交流機会や交流施設の充実)
- 交通利便性 (地形の高低差による交通課題)



富岡地区での急坂